

～さらなる「再生可能な自然エネルギー利用」の推進を～



みなと百年公園に設置された「風レンズ風車」

で福岡市では温暖化防止対策として「新エネルギー」の導入を推進し、小中学校・公民館等への太陽光発電設置や住宅用太陽光発電への補助を行ってきています。さらなる推進や補助制度の充実について池田良子議員(西区)が市長の所見を質しました。

わが党、社民党は、もはや原子力発電に未来はないとして、2020年までに原発ゼロ、2050年には自然エネルギー100%をめざす「脱原子力・自然エネルギーアクションプログラム」を5月25日に決定しました。

3月11日の大震災による「原発事故」で「新エネルギー」は再生可能で安全なエネルギー政策として注目を浴びています。これまで

(市長)

これまで、地球温暖化対策の観点から推進しておりますが、今回の震災により、その重要性は、今後確実に増していると考えます。

今後とも、率先して再生可能な自然エネルギーの市施設への導入を進めると共に、補助制度の実施等により、市民や事業者への支援にもしっかりと取り組んでまいります。

第1委員会報告

「福岡市地域防災計画の見直し」

「防災計画」は災害対策基本法に基づき、毎年必要な見直しが行われています。

この度の未曾有の大災害となった「東日本大震災」の発生に伴い提起されている津波や液状化対策ならびに原子力災害対策の課題について有識者や住民自治組織代表等10名の意見を取り入れながら全面的な点検・見直しを行うため「見直し検討委員会」が設置されました。

本年度は現計画の点検を行い、大震災を踏まえた見直しを行うとともに、新たな対策の検討を進め、「防災計画」の充実を図るとしています。

落石俊則 プロフィール

- ・1956年4月1日 福岡市東区奈多生まれ(55歳)
- ・1971年 和白中学校卒業
- ・1974年 福岡高等学校卒業
- ・1979年 福岡教育大学卒業
- ・1979～2006年27年間、福岡市内の小中学校で教壇に立つ(和白東小、千代小、香椎浜小、東吉塚小、美和台小)
- 趣味/アウトドア(キャンプ、釣り)、ゴルフ(初心者)
- 家族/妻、子ども4人、母親の7人家族+猫1匹

所属委員会・協議会等

- ◆第1委員会(総務企画局、市民局、財政局、市長室等)
- ◆交通対策特別委員会
- 九州大学移転・跡地対策協議会
- 保健所運営協議会
- 福岡市まちづくり研究会

弁護士による無料法律相談を行っています。

- 日時/毎月第4木曜日 17:00～19:00
- 場所/落石俊則事務所
- 弁護士/津留雅昭 ●市議会議員/落石俊則

※秘密厳守いたしますので、お気軽にご相談ください。
※事前にお電話でご予約ください。

落石俊則 活動報告(5月～7月)



5/3 博多どんたく



5/15 消防訓練へ向かう(福岡市消防学校)



5/25 市民防災訓練(三苦小)



5/31 JR博多駅前
東日本大震災義援金の協力を呼びかける



7/10 福岡市若者自立支援事業
「ニート脱出・支援セミナー」(おちいし撮影)



7/12 東日本大震災被災地視察(岩手県宮古市)
破壊された防潮堤上で北村市議(宮古市)より復興計画の説明を聞く。また、田老第一小学校では校長先生より子ども達の様子と今後の取り組みについての課題を伺う。